

# 所報

No. 22  
昭和61年6月

広島市教育センター

## 情報化社会と教育



広島市教育センター所長 下西茂樹

従来、子どもたちの生活の場として家庭・地域社会・学校があげられ、その教育機能として家庭教育・社会教育・学校教育の三つの分野があるものとされてきた。

ところが、情報化社会の到来とともに、今の子どもたちは、ラジオ・テレビなどがつくる多様なマス・メディアに囲まれて生活しており、その影響が強く現れている。

こうしたマス・メディアがつくる情報との接触場面に「第四の生活の場」という位置づけがなされ、その研究や対応策がすすめられつつある。

機械の急速な進歩は人間の生活を変え、さらに心までも変えていくと言われている。

このうえ、コンピュータ時代を迎えるとあっては、生活の変化とそれに伴う人間の変化は、計り知れないものがある。

これからの情報化社会に生きていくということは、一方的な情報に流されるということでもなく、また情報の洪水の中をうまく泳ぐということでもなかりう。多様な情報を取捨選択できる力をいかに育てていくか、また情報を活用できる能力をどう伸ばしていくか、

そして、それが自己を高めていくことにどのようにつながるかが、今後の教育にとって大きな課題となるであろう。

当教育センターでは、今年度新教育機器の教育利用プロジェクトを発足させ、マイクロコンピュータの教育利用について研究を始めることにした。学校教育にどのように利用できるかということが当面の研究課題である。

コンピュータは人間の脳に似せてつくられたものだそうである。したがって、人間に代わって「考えて」くれる脳の代替物とみなす考え方や、人間の脳の活動の補助や延長であるという考え方がある。

いずれにしても、考える主体はあくまでも人間であるということに立脚していなければならない。

コンピュータを取り入れることが今からの子どもに何をもちたらし、何を失っていくのかということを見定めていくことも、今後の研究課題として大切なことだと考えている。

無味乾燥な操作人間をつくるのではなく、人間として豊かな生活や文化をつくり出すためにこそコンピュータが活用されなければならない時代にさしかかっている。

＝マイクロコンピュータ教育利用研究プロジェクト発足＝



# 新教育機器利用研究事業紹介

— 研究期間 昭和61年度 —

広島市教育センターでは、情報化社会に対応した教育の進め方を探るために、研究プロジェクトを発足させて、マイクロコンピュータの教育利用についての研究を行っています。

今回は、事業の概要を簡単に紹介します。

### 研究内容

主な研究内容は、次の通りです。

#### \* CAI的利用に関する研究

- 小・中・高等学校における教科（算数、数学、理科）指導への利用
- 利用形態と活用のしかた
- ソフト教材の収集、開発、試用等

#### \* CMI的利用に関する研究

- 各教科の学習診断と評価、成績管理、授業分析等への利用
- 生活指導、健康管理等への利用
- 時間制作成、各調査統計への利用
- CMIソフトの開発と活用のしかた

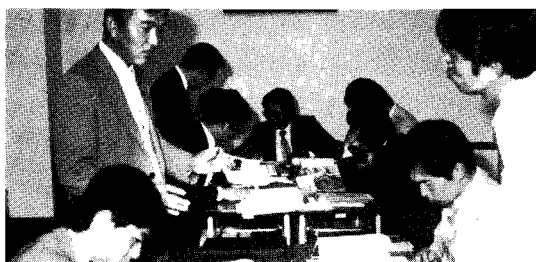
### ～用語解説～

#### CAI (Computer Assisted Instructionの略)

コンピュータのもつ、高速度で大容量の記憶・計算・判断・分類・出力などの処理機能を学習指導の場に生かす目的で構成されたシステムのことです。

#### CMI (Computer Managed Instructionの略)

コンピュータのもつ大容量の記憶、高度の演算・比較判断などの機能を用いて、個別学習情報を処理し、指導や授業改善に役立てるシステムのことです。



◀ 第一回研究協議会

### プロジェクト研究員

次の方々に、プロジェクト研究員をお願いしています。

	氏名	所属校	研究種別	教科
小学校	濱本正志	江波小学校	CAI	理科
	崎家聡	仁保小学校	CAI	算数
	沖重和彦	原小学校	CMI	算数
	森本忠昭	口田小学校	CAI	理科
	梶川明利	五日市東小学校	CAI	算数
中学校	上岐山修二	牛田中学校	CAI	理科
	栗田裕司	大州中学校	CMI	数学
	斎木俊彦	中広中学校	CAI	数学
	吉永誠	亀山中学校	CAI	理科
	豊原芳史	矢野中学校	CAI	数学
高等学校	植田和利	基町高等学校	CAI	理科
	正木勝治	舟入高等学校	CAI	数学
	前田忠彦	広島商業高等学校	CMI	商業
	三上英臣	広島工業高等学校	CMI	電気
	中原康	大手町商業高等学校	CMI	商業
	吉田裕午	安佐北高等学校	CAI	理科
	平井忠彦	沼田高等学校	CAI	数学

### マイクロコンピュータの導入

今年度教育センターに27台のマイクロコンピュータを導入しました。その内15台は、研究用として研究員所属校に各1台ずつ1年間貸出しています。12台は、教育センター研究室（2階）に設置し、ネットワークシステムにします。これにより、CAI教育の研究及び研修講座への利用、随時研修での活用等幅広い活用が可能になります。なお、CAI・CMI用のソフトも多数そろえ、研究や研修の充実を図ります。

## 共同研究中間報告

広島市教育センターでは当面する緊要な教育課題をとらえ、研究協力員の先生方の協力を得ながら共同研究を行っています。今回は「生徒指導」に関する共同研究の中間報告を紹介します。

## 今の子どもの友だち関係をめぐる諸問題

## —いじめの問題を中心として—

今日、校内暴力・登校拒否・非行・いじめ等、子どもたちの示す様々な不適応行動の根に共通な課題があるだろうとするのが一般的な見解になりつつある。本研究では、いじめの実態・要因・背景等を探り、不適応行動の根にある課題をとらえながら子どもの望ましい友だち関係を育てる方途を明らかにしたいと考えている。

第1年次は、広島市立小・中学校での「いじめ」の実態を把握するため、いじめに関するアンケート調査を実施した。調査対象は、小学校4年405名、6年383名、中学校2年337名であった。

その結果、子どもたちの7、8割が何らかの形でいじめに遭遇していることが明らかになった。そのうち、1学期間以上も続いているいじめに遭遇したものは小4で13.9%、小6で34.4%、中2で44.2%であり、学年が進むにつれていじめの固定化・長期化という傾向が見られた。さらに、集団で一人をいじめるといふ集団化の傾向もとらえられた。

いじめの方法は、下の表に示すように、多くの場合、無視・悪口・暴力である。また、着衣をぬがす等の悪質ないじめが、学年が進むにつれて増加し、さらに、いじめの行われ

ている時間・場所が「休憩中教室で」「放課後先生の目の届かない所で」「いろんな時どこでも」というものが増加していることを考え合わせると、先生の目を盗んで、表に現れにくい形で執拗にくり返されるいじめが増加している状況を推察することができる。

いじめに対して、いじめられた子は、「がまんをした」ものが学年が進むにつれて増加し、逆に「文句を言った」「仕返しをした」「先生や友だちに相談した」ものが減少している。その結果「学校がいやになる」ものが多数を占めている。

いじめた子は、いじめに対して「何とも思っていない」というものが多数を占めている。

さらに、いじめを見ている周囲の子どもたちの約6割は、「一緒になっていじめた」「知らんふりをした」等、同調的加担者、無関心を装う傍観者の立場にいることがとらえられた。

いじめの原因としては、いじめた子、いじめられた子、それを見ていた周囲の子いずれも「いじめられる子の性格や行動の問題」をあげており、いじめの構図が多くの子に固定的に認識されている状況が伺えた。

学級集団が「いじめ」を浄化する機能を持ち得ないで、逆に「いじめ」を潜在的に温存する格好の場になっていることが想像される。

本研究では、今後さらに調査・事例研究を進めることによって、「いじめ」を生み出している背景や子どもたちの生活の状況・意識構造をとらえ、基本的指導の視点を明らかにし、教育実践の基礎資料としていきたい。

(「生徒指導」共同研究グループ)

見たことのある「いじめ」

種類	区分	小 4		小 6		中 2	
		人	%	人	%	人	%
無	視	209	73.6	203	64.6	183	67.8
悪	口	185	65.1	230	73.2	189	70.0
暴	力	193	68.0	184	58.6	169	61.9
持ち物を隠す		101	35.6	137	43.6	49	18.1
着衣をぬがす		4	1.4	11	3.5	35	13.0
お金をとる		28	9.9	24	7.6	33	12.2
その他		14	5.0	23	7.3	21	7.7

施設・設備紹介

# 図書資料室の活用を

## ○教育センター3階○

教育センターでは、研究・研修や授業に役立つ図書・資料・視聴覚資料など豊富にそろえておりますので、積極的に御利用ください。

### 利用のしかたは

#### 利用し

##### \* 図書・資料

個人	—————	3冊以内	14日間
団体(学校等)	—————	10冊以内	20日間

##### \* 視聴覚資料

16ミリフィルム	} 各3種類以内	5日間
8ミリフィルム		
ビデオテープ		
コンセプトフィルム		

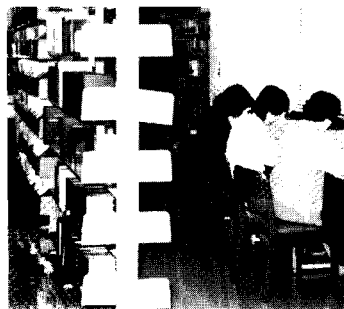
##### \* 視聴覚機器

16ミリ映写機	} 5日間
8ミリ映写機	
コンセプト映写機	

#### 利用し

開架式になっておりますので、容易にさがすことができます。

また、個人机で静かに読書もできます。



#### 利用し



AVブースが設置してあり、ビデオテープの視聴ができます。

16ミリ・8ミリ・コンセプトフィルムは4階の教育工学室で視聴できます。

### どんな図書や資料が

#### 新図書

約13,300冊

##### \* 平和教育コーナー



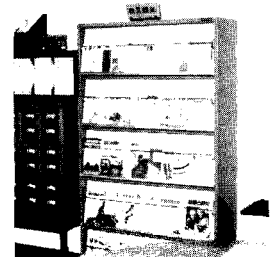
◀ 平和教育に関する図書を多数(約600冊)そろえています。平和教育推進に役立ててください。

#### 新雑誌

約6,000冊

- ・ 研究紀要
- ・ 政府刊行物
- ・ 調査統計資料
- ・ 月刊雑誌(38種類)
- ・ 実践記録
- ・ 各種教科書・副読本

##### \* 月刊雑誌コーナー



#### 新フィルム

約700本

- ・ 16ミリフィルム
- ・ 8ミリフィルム
- ・ ビデオテープ
- ・ コンセプトフィルム
- ・ スライド
- ・ TP その他



### くわしくは

学校等にお配りしております「教育図書・資料目録」「教育映画フィルム・ビデオ教材目録」を御覧ください。

## 「広島市学校教育史」編さん事業紹介

広島市教育センターでは、広島市が市制施行百年を迎える昭和64(1989)年を一つの節目として、学制発布に始まる広島市における学校教育の歩みを、「広島市学校教育史」として編さんし、今後の広島市における学校教育の一層の進展に資することになりました。今年度から史料調査に取り掛かることとなりますので、御協力いただきますようお願いいたします。また、史資料の所在などについての情報もお寄せください。

### 編さん

明治5(1872)年の近代学校教育制度の発足から今日までの広島市における学校教育の歩みを教育制度の変遷、教育内容及び教育実践の推移、さらには教育の動向などの面から記録します。

「広島市学校教育史」

第I巻 広島市学校沿革誌(昭和63年度刊)

第II巻 広島市学校教育史(昭和64年度刊)

### 編修

編修に関する基本的事項について審議する



第一回編修委員会

ために、広島市学校教育史編修委員会(教育委員会事務局職員、市立学校教職員、学識経験者、教育センター職員で組織)を設置し、その編修委員会のもとで学識経験者委

員と編修についての委託契約を締結して編さんをすすめます。

## 研究紀要紹介

昭和59年度、60年度の2か年にわたって所員が取り組んできました共同研究「遊び能力と仲間関係」及び個人研究「国語科教育」「音楽科教育」「特別活動」に関する研究の概要を『研究紀要』第6号としてとりまとめ、お配りしました。

今回は、研究主題を紹介します。教育研究・教育実践の資料として、十分御活用ください。

### 遊び能力と仲間関係に関する研究

—幼稚園・小学校—

主任指導主事 中土井 正 彦  
(現広島市立長東小学校教頭)

主任指導主事 重 末 久 人  
指導主事 木 本 寿 直  
指導主事 山 本 武 美

### 低学年の効果的な鑑賞指導に関する研究

—「おもちゃの兵隊」の鑑賞を通して—

指導主事 竹 本 建 治

### 中学生の漢字書字力の調査

中学生の漢字書字力の調査

指導主事 佐々木 英美子

### 小学校学級会活動に関する調査研究

小学校学級会活動に関する調査研究

—児童の発言参加を促す「話し合い活動」を中心に—

指導主事 升 尾 好 博

# 教育センターひろば

## 職員研修報告

今年度前期は次の4名の先生方が、それぞれの専門分野で研修を進めておられます。

- \* **社会科教育**：香川景寛教諭（己斐東小）  
研修題目：主体的に追求させる社会科指導法
- \* **図画工作科教育**：西田正邦教諭（宇品小）  
研修題目：豊かな表現力を育てる「絵で表す」の指導法の研究
- \* **生徒指導**：沖田博子教諭（大町小）  
研修題目：児童の望ましい人間関係を育てる生徒指導に関する研究
- \* **生徒指導**：白銀研司教諭（五日市南中）  
研修題目：学習規律の確立をめざす生徒指導

## 人事異動

- \* **離任**  
～在任中はお世話になりました～  
中土井正彦主任指導主事（長束小学校教頭へ）  
小久保武義主任（映像文化ライブラリー主任へ）  
三宅周平指導主事（国泰寺中学校へ）  
川原榮子図書資料室嘱託（退職）  
反田十郎研修指導員（退職）

- \* **着任**  
～どうぞよろしく～  
芋里川孝行主任（市教委保健体育課より）  
早川慧指導主事（落合小学校より）  
西川勝士指導主事（三入中学校より）  
加藤良明研修指導員（元呉ろう学校長）  
山中隆治教育相談員（元三篠小学校長）  
田平久恵図書資料室嘱託（舟入高校より）

表紙絵 広島市立三入小学校長 山本 進  
一原爆ドーム  
題字 広島市立古田中学校長 田口一行



▶合同研修会

## 職員名簿

部	事業等	職	名	氏 名	担 当 業 務
管理部	管理・経理	所次主	長	下 西 茂 樹 坂 本 信 義 植 田 保 之	所務総括 所務管理・執行 学校教育史編纂
		主任	芋里川 孝 行	部内総括、施設設備の維持・管理	
		主 事	来海谷 恭 子 岡 本 康 雄	公印、給与、文書処理等 予算、決算、経理等	
第一研修部	教育相談・広報	主任指導主事	木 村 琢 壮	部内総括、障害児教育、教育相談	
		指導主事	橋 本 郁 郎	生徒指導、教育相談	
		指導主事	宮 河 治 治	障害児教育、教育相談	
		指導主事	山 本 武 美	幼稚園教育	
		指導主事	升 尾 好 博	特別活動、同和教育	
		指導主事	兼 有 村 憲 一 郎	教育相談	
		教育相談員	清 水 孝 一	教育相談	
		教育相談員	山 中 隆 治	教育相談	
第二研修部	研究・整備・図書資料・教育工学	主任指導主事	木 本 友 直	部内総括、教育工学、視聴覚教育	
		指導主事	佐々木 美 美 子	国語科	
		指導主事	福 原 祐 治 郎	外国語・英語・科	
		指導主事	早 川 慧 昭	社会科、道徳	
		指導主事	民 安 和 昭	算数科、数学科	
		研修指導員	三 浦 徳 光 忠	教育工学、視聴覚教育	
図書資料室嘱託	田 平 久 恵	図書資料関係事務			
第三研修部	研修・企画	主任指導主事	重 来 久 人	部内総括、理科	
		指導主事	菅 本 建 徳	音楽科	
		指導主事	中 村 道 徳	家庭科、技術・家庭科	
		指導主事	西 川 勝 士	理科	
		指導主事	西 村 達 男	図画工作科、美術科	
		研修指導員	野 澤 河 夫 明	理科	
研修指導員	加 藤 良 明	家庭科、技術・家庭科			

(兼)は兼務

## 編集後記

本年度最初の所報をお届けします。皆様に親しまれるとともに、役に立つ所報を目指して編集していきたいと思っております。御意見等お聞かせください。